

～「中学校版 情報活用能力ベーシック 社会」に基づく授業実践～
中等教育学校2年（中学校第2学年） 探究科 学習指導案

授業者 郡司 直孝

本時について

発見		収集	○	整理		判断	◎
表現		発信		評価		改善	

本時目標：

○課題や仮説を論証する上で不足している情報について、適切な方法で収集するとともに、他者とともにその適切さを判断し、選択することができる。

本時展開：

時間	主な学習活動	指導上の留意点
導入 5分	1.（全体）本時の展開の見通しをもつ。	●本時の展開について端的に説明を行う。
展開① 15分	2.（グループ）自分たちが追究する課題と立案した仮説、不足している情報を確認する。	●自分たちの課題と仮説を共有し、それらを論証する上で不足する情報を共有し、次の学習活動の方向性を確認する。 ●不足している情報の概要をワークシートに記入することによって、指導の際の参考にする。
展開② 25分	3.（個人）インターネットを活用して、不足している情報を収集する。収集したwebページは、Google フォームを活用して送信する。 4.（グループ）メンバーそれぞれが収集した情報の適切さについて議論し検討する。	●Google フォームには、収集したwebページのURLを入力する。 ●3でのGoogle フォームの入力結果が集約されるGoogle スプレッドシートを活用する。
終末 5分	5.（グループ）次回以降の授業での取組を確認し、見通しを持つ。	●次回以降は、11/6に情報の収集、11/12学年内中間報告会を実施予定